

ネグロス島に行ってきました! vol. 4



生活クラブ生協・奈良
共同購入運営部
城本 壘
西配布期間: 2015.9.8~

~訪問先報告④ ロウアカンダボン~



ロウアカンダボンほととも標高の高い所にある産地です。麓の町まではワゴン車で行けますが、そこから産地までは舗装されていない山道が続きます。生産者に軽トラックで迎えに来てもらい荷台に乗り込んで出発しました。



ともしキレイがオヤシで素敵なお宅でした♪



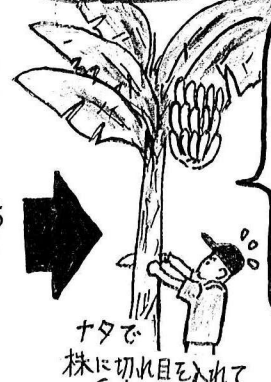
ロウアカンダボンでは生産者のボイマンのお宅に泊らせていただきました。ボイマンは生産者として来日されたこともあります。ボイマンの言葉で、「バナゴンバナの収入で娘2人を大学まで行かせることができました。日本の消費者のみが、バナゴンバナを利用してくれてありがとうございます。生産者にともしはげおにありがとうございます。」とのことでした。長女は結婚され、次女は大学3年生です。ロウアカンダボン生産者協会の中心的存在です。

ロウアカンダボン生産者協会は2011年に設立されました。69名の生産者を構成されています。バナゴンバナが生計収入源で、畜産や他の作物の栽培など生産物の多様化に取り組んでいます。

カボチャ、白菜、ナス、マセインゲン、牛、ヤギ、にわとり、卵など、鳥肉はATCに出荷し、職員が購入しているそうです。

ボイマンのお宅の裏にあるバナナ畑を見学しました。バナナの株は細く、数もまばらで育ちが悪いように見えます。「干ばつで雨が全く降らず育ちが悪い。水をあげるホースも破損してしまっている。水も思うように使えない」とのこと。また、「気候変動のため、台風の時や強風の日はバナナの株が倒れやすくなる。防風林を植えるなど対策が必要」とのことです。訪問した時も強い風と雨で、夜はバナナの株が倒れる「キキキキッ!!」という音に大変恐怖を感じました。ちなみにボイマン宅は訪問時ずっと停電しており、晩ごはんはろうそくやろうの灯りでいただきました。

バナナの収穫



バナナの収穫は本当に難しいです。生産者はナタで簡単に切ってしまうが、幹が切れない... 株の中にアリが巣を作っていて、暗いアリが水になりやすい...」



ロウアカンダボン生産者協会との交流

バナナの株の植付けから収穫までを体験しました!!



バナナの株の植付け
土を掘ると大きな石もゴロゴロ出てきます。
土作りの大切さを日本での研修で感じました。

バナナの臭いの袋掛け

バナナの臭いに傷がつかないように袋をかぶせます。傾斜地が多いのでバナゴンに登るのも大変です。



収穫したバナナは集荷場に運ばれ、傷や大きさを厳しくチェックされます。日本に届ける為には本当に丁寧にチェックされました。その後、パッキングセンターに運びます。日本までもうすぐ!!

今回でネグロスツアー報告は最後です。見たい所も多かったと思いますが最後まで読んでいただき本当にありがとうございました。このツアーを通じて「物事の背景を知ることはとても大切だ」ということを学びました。現地を訪問したいと感じることができないことも多く体験することができました。機会があれば参加はしたい!! あ〜また行きたいなあ... 城本 壘
まだ手書きで足りませんが、1%の全体報告会で報告します!!